時事新報

東京府知事

蜂須賀侯は高崎氏に代りて新に東京府知事と爲れり侯は勤儉の身を以て外に金權公使と爲り內に諸官を歷任して其實故人情に通ずる事常清華者流の比に非ざると國より言を待たざれども要するに事務家籌略家に非ず富貴にして且つ德望ある侯爵として見る可きものならん而して今撰せられて東京府知事と爲る、我輩は侯の富貴德望、府知事の品位を一層重からしむ可しと信じて疑はざると同時に自然か故意かは知らざれども政府が府知事の人撰に於て西洋自治制國の風儀を學ぶの意あるには非ずやと聊か思ひ當るとなきに非ず抑も西洋自治制國にては知事の政務は至て少く多くは繁多の事あるも實際事務に當る者が一切之を處分して知事は其大綱を總攬する迄の事なれども彼の國交際社會の繁多なる或は慈善會の發起と云ひ或は公共諸協會の集會と云ひ此處の宴會、彼處の集合若くは珍客の送迎等或は府會堂に僅はして知事を會長と仰ぐもあり或は他席に來臨を乞ふて其光榮を誇るもあり知事を社交の本尊として府政に知事たらしむるのみならず特に交際社會に向て其盡力を要するが故に彼の國知事の俸給は固より少からざれども寄賦金と云ひ宴會費と云ひ榮譽の盛んなるに隨て一種の榮譽稅を課せらるゝは社交自然の情狀にして例へば彼の英國の首府倫敦に知事たる者の如き毎年改撰の例規なれ共在職一箇年間の榮譽稅は一個人に取りて中々莫大の者にしてロード、メーヤアの職に上る者は概ね鉅萬の富を有し一生の思出に財產の幾分を義捐して榮譽を得んとする人々にして縱令へ尋常紳士にても一旦府知事の榮職に上れば其後必ず男爵に敍せらるゝの例なりと云ふ即ち彼の國の府知事職は有る財產を抛て榮譽を得んとする者にして其榮職を利用して無き財產を作らんとする者に非ず東西の事情固より同じからざるが故に一概に論ず可らざれども知事を俗官吏とのみ爲すが如くして之を社交の一首領と爲し交際社會悠々和樂の其中に慈善事業禮樂、飲會等の公務を擧げ人情を和げ風俗を厚うする等、知事の職務を大にして府內各般の人事を支配せしむるは我國の實際に於ても亦最も切要なりと云ふ可し然るに今や我政府が東京府知事の後任を撰ぶに當りて彼の事務家策略家を以てせず富貴調和の蜂須賀侯を以てしたるは郡制府縣制も布して漸く彼の自治制の實を擧げんとする今日、或は我府知事をして出來べき丈け彼の自治制國の知事に近からしめんとするの內意あるには非ずや其は兎も角も我政府は今より三五年前に條約改正外交事情の爲めにてもあらんか華族諸氏を以て各國駐劄公使に任じ政府の外國公使館費は總て從來の儀にして公使の交際費額は減ずる可く浪出に美事ならんことを期し云ふ公使に任じたる華族諸氏に外交費の幾分を自辨せしむるの都合ありしかば華族公使にして彼の浪出やかまる外交の爲めに金を海外に費したる其額決して少しと爲さず言て已屋駐劄の我公使がグランド、オペラのボックス（看場）一個を平常買切り置きたるが如き實時已屋人の切に憂慮する所なりと雖ども今日よりして之を見れば一時の豪華全く跡なく費したる金は外國に落ちて遂に我國土を潤さず而して其外交上に於ける影響も無論然として見る所を見ず本來我輩は在歐洲日本公使館の設置に就て無益なる公使館費を省かんとする者にして其細論は他日に讓り兎に角彼の華族諸氏を公使として其金を海外に散せしむるとを顧はず華族諸氏が國家の爲め辭た其榮譽の爲に疎りて果して其財產の幾分を義捐するの意あらば之を外に費さず之を內に敬せざる可らず此一點より云ふ時は富貴の人が府知事と爲りて府內一切の人事を引き受け其職位を利用して已れの爲にせんとするに引き替へ富貴身に餘り德望外に溢て自利自營の念なきを以て自から其榮職を對して所謂榮譽稅をも拂はんとするやうの都合あらば彼の自治制に適したる府知事として府民の愛重を受く可きや必ずや左れば今度蜂須賀侯が東京府知事に任じたるを始め今後知事の撰任は此邊の心掛を爲すみともあらば政府の爲めにも人民の爲めにも共に好都合を見るみとある可し我輩の敢て今日に一言して後來に希望する所のものなり

雜報

○佛國米穀課稅の決議　佛國關稅調査委員會に於ては今回佛領西貢米の輸出を奬勵する爲め他國輸入の米穀に課稅する事に決したるよしなるが委員會に於ては課稅論者二十三名に對する非稅論者九名即ち十四名の多數なりしと云ふ今課稅額案は左の如し

小麥	百基に付	輸入稅 六法
白米	同	同 八法
米ノ粉	同	同 三法
粟	同	同 三法

但し佛國にて糊料に製造する輸入米は無稅なり右の決議は委員會より更ふ國會の討論に附し然る上に非されば實行せざるものなれども委員會は下院總員より互撰したる議員より組織せるを以て國會の議題となりたる以上は全く否決し去るべしと思はれ丈萬一にも百基に付八法即ち二十六貫六百六十七匁の米量に對し二圓の輸入稅を課せらるゝに於ては本邦と佛國間の米穀貿易は非常の障害を蒙るに至るべしと此樣在佛國里昂駐在の本邦領事大越威佛氏より農商務大臣に報告ありたりと

○神奈川縣の貴族院議員　貴族院の議員は互撰の上更に勅撰に依て定せるものなれば今より豫言す可らず雖も同縣下貴族院議員の資格候補者として像め指名する所の人々を聚れば市部にては原善三郎高嶋嘉右衛門平沼專藏の三氏又郡部にて永野茂石井虎之助梅原修平の三氏なるよし

○横濱の米況　横濱にて米穀御賣の營業なれども米の需要か十軒餘にして他は大抵小賣營業なれども米の需要は人口の多きに隨て年分中々の巨額に上り毎年平均の消費高を聞くに横濱市及其近傍を合し一箇年凡そ三十六萬四五千俵に上り其供給は直に東京よりし又時として產地より直接に輸入する事もあり地米と稱するは稻毛米にて同米は神奈川縣下第一等の品質なればとて需用も多し雖も供給に限りあるを以て僅か一部の需要に充つるに過ぎず多くは伊勢米及越後米を需用する由にて其比例は伊勢米六分越後其他諸國の產米を合して個分の割合なりと扨又本年南京米の需用は如何いふに小賣屋にては公然南京米の看板を掲げたる處もありて塩末の處にては同米の割方中々宜しきよしあれど或る場所に於ては看板を出さず大義は日本米に外米を混合して賣捌くよしなれば花主先より苦情を受る米商も少なからずといふ而して米價の騰貴せし以來横濱生徒の樂遊を以て有樣なるを以て南京米の割け方尙遲なるやを調査せしに本年最初より五月十七日迄輸入及販賣高は揚江白米三萬俵、高直三弗三四分安直三弗一二分、安南上白米三萬俵高直三弗三分五厘安直三弗一分、安南並白米二萬俵高直二弗七分安直二弗四分にて總計十萬俵なりと

○米國產ランダシャン鷄　近年我家禽の改良漸く緒に就かんとするは全く米國より輸かれたるとは疑ふべからず第一晴淡ブラマ、白褐レグホン、ワイアンドット、ブリモースロック及バフ、バアトリッチコーチン等の種類皆米國より輸入し來り今や其繁殖益々盛んにして既に東京及其近府縣に於は之を務むる者愈々增加し漸く其子卵を東北諸州に移し又次第に西國地方に流行せしめんとするの勢あり元來我邦に洋鷄の流行を始めたるは年尙淺くして昨年九月の品評會に在りては殆んど見るべき者少なかりしが今や既に內國產にして頗る美事に出來したる者多し目下上野に開會中なる家禽品評會出品を昨年の同會出品に比すれば實に進歩の著るしきを見るべし然れども今日は尙は我洋鷄の繁殖未だ幼稚なり一般の養鷄家が之を飼養して何れが最も効益多きやを經驗したるもの寡なし自今追々現在の種鷄より一層勝るる者をも輸入し來るとあらんが近頃一種の瓦鷄又々米國より輸入したるは他なし目下彼地に於て最も流行の盛なる白色ランダシャン鷄是なり左に掲ぐる處の圖は即ち白色ランダシャン鷄にして元と此種鷄を繁殖せしは米國カリホルニヤ州にてアルビー氏の家禽場を嚆矢とす而して其初は黑色ランダシャン鷄の種卵より續々孵化せる者にして雌雄能く其骨格を遺傳し美麗なる純白色の羽毛を生じ雌に愛すべき白色ランダシャン鷄を出すに至れりと又左に掲ぐるものは氏が雌雄を飼養せし者より氏に寄送せし處の書簡にして之を一讀せば該鷄の容姿特性を詳かにするとを得べきあり

アルビー君足下ホワイトランダシャン鷄は益々壯健の容態を爲し大に愛すべし其のランダシャン種たるを解するに足れり

千八百八十九年五月三十日　ハンド、ブロック

アルビー君足下ホワイトランダシャン鷄は倉庫處に生長せり余は之を愛して已まず殊に其姿容の優美奇絕なるを好むあり

千八百八十九年七月廿五日　チーニー、ホートマー

前略余が愛友アルビー君の家禽を加へ其ぞれ其姿容の優美なるを賞せり其中にて雌雄共に能く其特性を遺傳せり

千八百八十九年十月廿一日　ウエスト

前略御送致せし雌雄共に能く其特性を遺傳せり皆美麗なる容姿を具せり

千八百八十九年十一月廿一日　ウエスト

○監獄官練習所　監獄官練習所の人々は皆な能く其職務を見るみとある可し我輩の敢て今日に一言して後來に希望する所のものなり

氏は皆な能く其職務を見るみとある可し我輩の敢て今日に一言して後來に希望する所のものなり

の人々も少壯の人々も少壯の人々も少壯